

会員紹介

多摩湖町

多摩湖町はこんな町です

◆多摩湖町は東村山市中心部からは遠く、所沢市に接した辺境の地ですが、多摩湖や狭山公園など自然にあふれたところです。西武遊園地にも隣接し、夏の花火は壮大で大変綺麗です。

◆会員減少の中、本年 3 名の新入会員の方が、当多摩湖町で入会されました(阿部さん、勝方さんご夫妻)。

◆『多摩湖町ワイワイおしゃべり会』を開いています、以下、概略です。



第 1 回として、多摩湖町在住であり、会員でもある早稲田大学教授・千葉俊二さんに『谷崎潤一郎との出会い』と題してお話しいただき、第 2 回目からはリレートークで、毎回二人の方にスピーチをしていただきました。そして 7 回目から初めての試みとして、テーマを決めて自由闊達におしゃべりし、何か自分の参考となるものをつかめる場を提供したいと企画しました。

8 回目は「**新たに始めたこと・やめたこと・今やっていること**」をテーマとして忌憚のない意見等を出し合い、「元気をもらおう」おしゃべり会となりました。9 回目は昨年 3 月 2

2 日(日)に、テーマとして「少子化問題」を取り上げ、開催する予定でしたが、コロナ禍のため延期となりました。新型コロナが終息すれば引き続き同じ形式で自由に脳の活性化につながるお話の出来るおしゃべり会を開催します。

最後に、会の特徴は多摩湖



倉田哲也さん(左上) 2019 年 12 月他界されました。

町在住会員のみならず他の町の会員にも参加を呼びかけ、オープンな会です。また、多摩湖ふれあいセンターで春秋 1 回ずつ年 2 回定期開催している。

(写真は第 8 回多摩湖町ワイワイおしゃべり会(2019 年 9 月 22 日開催)

多摩湖町の仲間・近況

青柳 真一(理工 39)：現在 82 歳、家内と二人暮らし。10 年程前から自宅に事務所を移し、自営(建築の電気設備設計)を行っております。最近年齢による体力の衰えを感じながらも昔からの付き合い先から依頼される仕事を頑張っております。学生時代の仲間と時々行っていた都内周辺等の散策がコロナ禍のため中断となってしまう運動不足がちなため、時々近くの八国山の広場に行っては軽く体を動かすようにしております。

阿部 淳也(理工 55)：卒業時、原子力開発機関に就職が内定しておりましたが、就職浪人をされていた先輩に機会をお譲りすることとなり、就活再開。偶然の機会とご縁で、総合商社に就職。その後様々なご縁で工作機械メーカーに身を転じ、昨年より抵抗溶接機メーカーに勤務しております。予想もつかなかった貴重な人生を経験させて頂いたことに感謝する毎日です。長らく単身赴任暮らしでしたが、現在家族 6 人(正確には 4+愛犬 2)で賑やかに暮らしております。

荒巻 優之(法 51)：私は、定年まで NHK で番組制作の仕事をしていた関係で、現在でも週に 3 日関連会社で字幕放送のお手伝いをしています。古代中国では、人生を四季に例えて玄冬、青春、朱夏、白秋として、冬に始まり秋で終わるという考えがあります。私は今、白秋のどこかにいます。一日一日を大切に、無理をせず、嫌いなことはせず、音楽など好きなことに程々に取り組み、残された未来という時間を過ごしたいと思っています。

会員紹介

石井 光典(文 5 5)：現在はセカンドステージで東久留米市東部地域センター(コミュニティセンター)に勤務。昨年 9 月に次女が女児出産、11 月に長女が女児出産、しかも双子。3 カ月間で一気に 3 人の孫に恵まれることになる。某生保のサラリーマン川柳に「来て嬉し帰ってうれし孫の顔」という作品が選出されていたが、まさに実感。家内とは孫たちの晴れ着姿をみるまでは何とか頑張ろう、と新たに人生の目標を設定した昨今です。

石井 真子(文 5 5)：コロナ禍の自粛生活。あまり鬱々とせずにご過ごせたのは趣味の“パッチワーク”のお陰でしょう。小さな机から始まり、今では一部屋を占領。講師の資格も取得し、お教室を開くまでに。この 1 年半の間にたくさんの素敵な作品が完成しました。昨年 9 月と 11 月に待望の孫が誕生。三人の孫(長女は双子です)のおばあちゃんになりました。人生 100 年。孫の成長と趣味を楽しみながら、健康第一で頑張っています。

勝方 信一(文 4 6)：読売新聞社で長年、論説委員として、社説やコラムの執筆を担当してきましたが、このほど執筆した記事を読み返してみると、学生時代を過ごした学生寮(早大 YMCA 寮)の勉強会での討議が基になっていることに気づきました。現在、国立市内のキリスト教の教会に通っていますが、これも勉強会の体験があってのこと。私のルーツは大学の仲間との交流の中にあるとの思いを強くしています。

勝方 恵子(文 4 6)：2018 年 3 月に定年退職したものの、仕事の一部は続き、なかなか自分自身の時間を取り戻すことはできませんが、コロナ禍のステイ・ホームのおかげで、念願の晴耕雨読の日々。多忙で駆け足だったこれまでの生活におさらばして、「仮そめに通り過ぎた数々の場所への郷愁」に浸っています。両親との同居のために、関東一円を探して選んだ多摩湖町住まいも、もうすぐ 40 年。森と湖が近いので、とても気に入っています。

黒田 祐司(商 4 1)：コロナで自粛、新宿にも行かず近隣散歩、テニス、Zoom による会議、家族、友人と面談。生活面ではこれほど長く夫婦で過ごす時間が出来た事に戸惑い活用中。稲門会では副会長・市民雑学講座担当・ニュース印刷委員長・カラオケ・俳句・グローバルサロン英語会の各世話人、テニス同好会に所属。座右の銘「年を重ねただけで人は老いない。理想を失うときに初めて老いが来る。」(サミュエル・ウルマン)

高部 素行(理工 3 5)：清水建設技術本部に勤務。建築設備の更新に関する研究や建築物の維持管理に関する研究で貢献した。現在難病(パーキンソン病)に罹りリハビリに専念している。俳句会員。

***高部 素行さんは、2021 年 9 月 28 日逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。**

田中 清二(商 3 3)：学生時代に、ラテン音楽に没頭し、その時覚えたスペイン語が役立ち、大手商社に入社し商社マンとして活躍。営業力を生かして、31 歳でホンダに転職。ベトナム戦争の最中、サイゴンを拠点にして 3 年間で 75 万台のオートバイを売り切った。その後、1988 年に実家である神田でドトールコーヒーのチェーン店を経営。5 店舗まで広げ現在に至る。「人と人のつながりを大事にすること」をモットーに現在も現役。

千葉 俊二(文 4 7)：『論語』の冒頭に「朋あり、遠方より来たる、亦た楽しからずや」とありますが、新型コロナは親しい友人と会う楽しみを奪ってしまいました。そればかりでなく、世界の勢力地図をも一変させてしまったようです。古稀を過ぎてこれほどの時代の激動に遭遇しようとは思ってもみませんでした。これからどんな時代になるのでしょうか。

戸田 志郎(法 4 3)：現在、学生時代に体験した「1966 年早稲田学費闘争」の記録・編纂のプロジェクトのお手伝いをしている。生活面では断捨離の一環として本の整理をしているが苦戦している。稲門会では役員・ポストパースン・「多摩湖町ワイワイおしゃべり会」世話人。テニス同好会と俳句同好会に所属している。人生のモットーは「教えるとは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと」(ルイ・アラゴン)

野中 昭夫(商 3 2)：1954 年商学部入学、翌年写真部へ入部。写真界はサロンピクチャーを脱し、ヒューマン インタレストへと動いていた。その新風に触発されこの道に没頭。1957 年、幸いにも新潮社写真部に入社。以後 2014 年まで美術系雑誌「芸術新潮」を主に、世界の美術・文化遺産の多くの撮影、編集に携わることが出来て、幸いでした。1972 年、御大土門拳さんに『野中君も写真が写(ウツ)るようになったな。』と言われてとても嬉しかった。38 歳だった。現在は稲門会の“写真を楽しむ会”の再開を待つのみです。

山口 修史(文 4 4)：出版社を退職後、テニス人生。稲門会テニス同好会の重鎮。プレーで手を抜いていると厳しいカツが飛ぶ。オカリナの趣味もあり意外な一面もある。

(戸田 志郎 編集)

会員紹介

野口町

野口町には、正福寺などの文化遺産があるほか、武蔵野の面影を残す雑木林や田園風景などもあり、とても住みやすい町です。ぜひ、ウォーキングやサイクリングなどでお越しください。農家の直売所で新鮮な野菜や果物も購入できます。



国宝・正福寺地蔵堂

正福寺境内の地蔵堂は都内唯一の国宝木造建造物の 1 つで、応永 14 年（1407）建立とされています。堂内には千体を超える小地蔵が安置され、年 3 回特別公開されます。11 月 3 日の地蔵まつりでは、地酒、お団子、地場野菜などの販売も行われます。



北山公園

新東京百景にも選ばれた花菖蒲の名所で、八国山を背景に広がる自然豊かな公園で、固有品種「北山乙女」など約 10 万本の花菖蒲をはじめ、桜、紫陽花、彼岸花なども鑑賞できます。また、園内にはカワセミやトウキョウダルマガエル（絶滅危惧種）などの貴重な動植物も生息しています。



サンパルネ

ワンズタワー(東村山駅西口再開発ビル)2 階、3 階に「健康増進、くつろぎ、つどい交流スペース」を基本コンセプトとした公益施設市民ステーション「サンパルネ」が平成 21 年 10 月 1 日にオープンしました。特に地域サービス窓口は 19 時 30 分まで営業しているので、住民票の写しなどを取得するのにとても便利です。



先取り情報「市はシチズングランドを取得する方針を表明」 市長施政方針抜粋

野口町 2 丁目にあるシチズングランドを所有する同社健康保険組合から敷地を市が防災上必要ならば、売却しても良いとの申し出をいただきました。取得した場合には、緑地保全機能に加え防災機能、市民スポーツ・レクリエーション機能などが格段に高まり、今後のまちづくりにおいて多岐にわたって都市の価値を向上させる効果が極めて高いことなどを総合的に判断し、本用地を取得すべく前川公園の事業化に取り組むことを決断しました。



野口製麺所

北山公園や正福寺などを散策する際にお寄りください。東村山産の小麦や野菜などを使用するなど、地産地消にこだわる手打ちうどんのお店です。東村山地粉肉汁うどんをはじめ、メニューも豊富です。食べログうどん TOKYO 百名店 2020 に選ばれました！ 市役所の近くに本町店もあります。

野口町 4 - 4 6 - 1（正福寺の真裏） 電話 042-392-0856



土家

美味しい蕎麦と旨い酒をゆっくり堪能できる名店で、食べログアワードブロンズに 5 年連続で選ばれました！ これってかなり凄いです。昼、夜共に蕎麦懐石コースのみで完全予約制です。バス通りから路地を入った古民家が目印です。

野口町 4 - 1 8 - 1 電話 042-392-9457

会員紹介

青山 稔(昭 3 7 法)



幹事とニュース配布（野口町 3, 4 丁目）。コロナ禍で何気ない日常が懐かしく思います。一日も早い収束を願うばかりです。

川口 雅史(平 2 2 法務研)



スポーツ関連の IT の仕事をしております。仕事は専ら在宅になり、趣味の旅行もなかなかできず、コロナ禍が過ぎ去るのが待ち遠しく思っております。皆様もご自愛ください。

市川 暢男(昭 4 2 商) 市川 久美子(昭 4 2 教育)



学生時代は、漕艇部に所属し全日本 2 連覇・世界選手権の日本代表をつとめました。地域での公職のお手伝いの際は、25 年前の所沢キャンパスでの東村山稲門会創立総会に、市の教育委員長の立場で参加させて頂きました。80 歳までは、元気に昔の仲間と艇を漕ぎ、恵まれた 10 人の孫達の成長を見守りたいと思います。（奥様のコメントは今回ありませんが、ご夫婦で会員です。）

小森 敏孝(昭 5 1 教育)



中高一貫の私立学校に 42 年間勤めたあと、非常勤講師として継続勤務中。30 年間の中学野球部監督時代が一番の思い出です。教えることと飲むのが最高！

高柳 剛(平 3 社学)



創立から関わらせていただいておりますが、25 周年ということで感慨深く感じております。52 歳となりましたが、普通二輪免許の取得など新たなことにチャレンジしています。

原田 道昭(昭 5 3 理工院)



東村山に移り住んで 10 年ほど経った頃に、東村山稲門会が設立されました。写真は、設立総会の懇親会時に、来賓の河原崎長一郎さん（早大 OB）と家族と一緒に撮ったものです。25 年が経過し、67 歳になりました。

吉澤 勇(昭 3 7 法)

今回は、都合により写真とコメントはありません。お名前だけの紹介となります。



東村山駅西口に以前あった、懐かしい「カクリボール」

以上 野口町でした。